

5 類化に向けた市内医療機関への協力依頼

医療機関 管理者 様

札幌市長 秋元 克広
一般社団法人 札幌市医師会 会長 今 真人

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に位置づけられることを受け、札幌市全体で医療に対応するため、市内の全医療機関に以下の事項について協力をお願いします。

1. 重点医療機関等の皆さまへ

- 流行拡大期にも対応できるよう、必要な診療体制の確保をお願いします。
- 確保病床における重症・中等症Ⅱ患者の受入れの重点化について検討をお願いします。

2. 救急当番医療機関（初期・二次）の皆さまへ

- 主訴に応じた診療科において、発熱者等も受入れていただくようお願いします。

3. 入院病床を有する医療機関の皆さまへ

- 新型コロナ患者の入院対応の経験がある医療機関は、軽症・中等症Ⅰの患者の受入れをお願いします。
- 新型コロナ患者の受入れ経験がない医療機関は、受入れ体制を整備し、順次軽症・中等症Ⅰの患者の受入れをお願いします。
- 入院が必要な患者について、医療機関間で調整のうえ受入れをお願いします。

4. 外来診療を実施している医療機関の皆さまへ

- 発熱外来に限らず、診療科に応じて発熱者等の診療等をお願いします。
- かかりつけ患者に限定することなく患者の受入れをお願いします。
- 入院が必要な患者について、医療機関間で入院先や移動手手段の調整をお願いします。